

# Edited Master(EM)概要

## ● EMとは？

- ディスクイメージ(カッティングマスター)を作るためのマスターデータ
  - 最終的な編集プロセスの出力 (= オーサリングの入力)
- フォーマットはDSDIFFにて規定
  - DSDIFF = Direct Stream Digital Interchange File Format
  - DSDオーディオデータ、時間情報などが含まれる
  - 2ch, 5ch, 6chそれぞれのエリアごとに1つのファイル

# EMの内容(1)

カテゴリー	項目	内容	データの重要度
基本情報	DSDIFFバージョン	1.3または1.4	必須
	サンプリング周波数	64fs固定	必須
	チャンネル数	2/5/6ch	必須
	スピーカー設定	2/5/6ch	必須
	音楽データの先頭時間情報		必須
	圧縮・非圧縮情報	DSD (DST)	必須
音楽データ		DSD (DST)	必須
EM情報	時間情報	プログラムスタート時間 トラック開始・終了時間 インデックス開始時間	必須
	EM ID	会社名/プロジェクト名/ 日時/バージョン名など	必須
	アーティスト名		任意 (CMデータ作成には使用されない)
	タイトル名		任意 (同上)

# EMの内容(2)

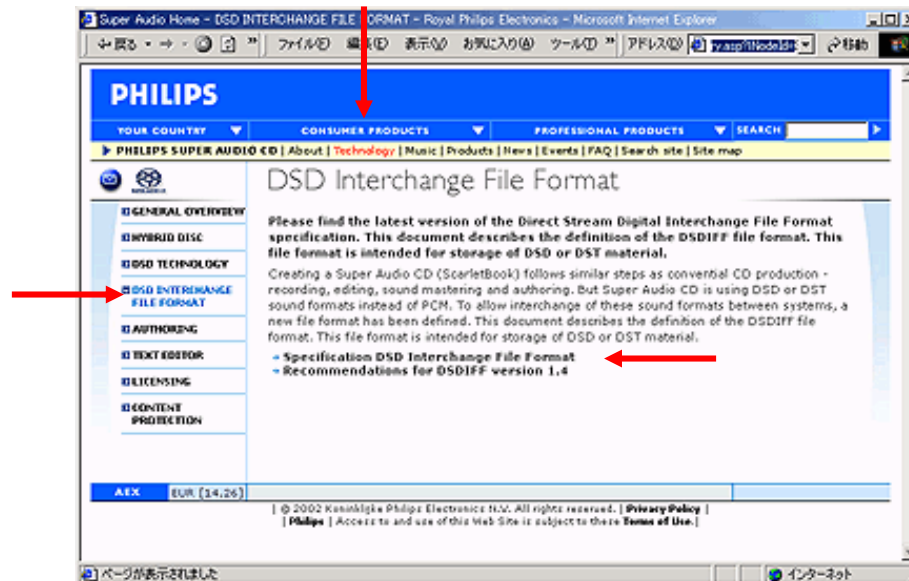
カテゴリー	項目	内容	データの重要度
コメント情報	制作機器の名前		任意 (CMデータ作成には使用されない)
	オペレータの名前		任意 (同上)
	ファイル履歴		任意 (同上)
	音楽ソースの種類	DSD/Analog/PCM	任意 (同上)
	その他	ユーザー依存	任意 (同上)

\* これらのデータは、ユーザーがエディタ上で入力するもの、エディタが自動的に作成するものがあります。また、エディタによっては、必須項目以外の項目は対応していない場合があります。

\* EMIDは例えば、Sony\_SuperAudioCD Project\_2003-01-01\_17:00\_Sonoma version1.5.2.4などのようにEMを特定できるようなものを入力します。

# DSDIFF(1)

- DSDデータのための共通ファイルフォーマット
  - Philipsが制定、フォーマット書・関連ドキュメント・ソフトウェアライブラリ発行（ドキュメントはPhilipsのweb-siteにて公開中。  
<http://www.superaudiocd.philips.com/InformationCenter/NO/FArticleSummary.asp>  
からTechnology **DSD INTERCHANGE FILE FORMAT**をたどり、  
” **Specification DSD Interchange File Format**”をクリック



# DSDIFF(2)

## – Philips/Sony間で規格検討

### 変更履歴

Document Version	Date	内容
1.0	2000.2.14	EMとしての機能は考慮されていない
1.3	2000.9.5	SACD format v1.1に対応
1.4*	2002.6.5	SACD format v1.2/1.3に対応 EM必須項目の明確化
1.4 Revision 1*	2002.11.28	一部修正
1.4 Revision 2*	2003.3.11	SACD format v1.3対応のための一部修正

\* 実際にファイルに書き込まれるバージョンナンバーはどれもv1.4